

科目名				授業の種類		授業担当者	
言葉A指導法				演習		高沢貞子	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	1	1	30	15	前期	必修	
[授業の目的・ねらい]							
<p>○乳幼児が言葉を獲得していく過程を学び、必要なかわりについて考える。 ○絵本、紙芝居、童話等に触れ、その楽しさを感じながら保育者としての技術を身につける。</p>							
[授業全体の内容と概要]							
<p>○具体的な乳幼児の姿や保育者の姿をイメージしながら、必要なかわりについて学びを深める。 ○絵本や紙芝居、童話等に触れて、その楽しさを実感しながら、扱い方の方法を習得し遊びの展開などを考える。</p>							
[受講上の注意事項]							
<p>○保育者になるための知識や技術を学ぼうとする意欲的な姿勢で臨む。 ○積極的に発言をする。</p>							
[使用テキスト]				[評価基準]			
保育内容「言葉」				授業態度、提出物、試験を総合的に。			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目		授業内容				
1	保育の基本と領域「言葉」(1)		言葉の魅力に触れる。 領域「言葉」の基本知識と内容を学ぶ。				
2	保育の基本と領域「言葉」(2)		領域「言葉」の保育内容を学ぶ。				
3	言葉の発達を支えているもの		乳児の有能さ、保育者との関係性について学ぶ。				
4	乳幼児の言葉の発達(1)		言葉としての身体表現からコミュニケーションとしての言葉になるまでを学ぶ。				
5	乳幼児の言葉の発達(2)		言葉の発達過程を知る。				
6	乳幼児の言葉の発達(3)		文化財との出会いにより育つものを考える。多くの絵本に触れる。				
7	子どもの心に響く絵本(1)		読み聞かせの方法を学ぶ。絵本の比較を試みる。				
8	子どもの心に響く絵本(2)		いろいろなジャンルの絵本に触れ、特徴を知る。				
9	絵本の製作(1)		絵本を製作する				
10	絵本の製作(2)		絵本を製作する				
11	絵本の製作(3)		絵本の発表と自己評価				
12	領域「言葉」と保育方法(1)		「言葉」のねらいと保育者の役割				

13	領域「言葉」と保育方法(2)	環境構成と指導計画を学ぶ。
14	領域「言葉」と保育方法(1)	指導計画と領域「言葉」
15	まとめ	学んだことの確認と試験。